

インドネシアの民主化と報道の自由

外国語学部フランス語学科 4 年

A9853060 山口牧子

要旨

アマルティア・センは本質的自由を拡大していくことが発展することだと定義した。それならば、報道の自由は他の政治的、経済的自由の獲得に必要不可欠な存在であり、マスメディアも発展の役割を担うはずだと考えた。

途上国の民主化・発展の度合いを知るのにその国でのメディアの自由度は一つの指針となりうる。なぜならば、権威主義国家が民主化していく過程でメディアは大きな役割を担うのであり、民主政治は国民の意思を政治に反映しなければいけなく、政府はまた政治の方向を国民に提示し、国民からの支持を得なければ存続していくことができないからだ。国民の総意を汲み取って政府が意思決定を行い、その政策を国民に伝えるのである。この両者の架け橋となるのがメディアである。このため民主主義国家は自由な報道機関を必要とし、また同時に自由に活動できる報道機関が民主化を促すという民主主義と報道の自由の相互作用があるものだと思う。

そこで、メディアが政府のプロパガンダ機能から権力への批判、監視、民意の反映などの役割を担う独立した本来の報道機関と成長していく過程をインドネシアの事例で検証し、マスメディアと国家の関係がどうあるべきかの考察をこの論文の目的とした。スハルト体制下での支配されたパンチャシラプレス、体制末期の開放政策（クトゥルプカアン）下での成長の過程、そしてスハルト新体制の崩壊とその後の民主化で大きく前進したメディアの活動を見ていく。

その結果、インドネシアのような権威主義的国家が民主化へ向かうときメディアは相互作用をもたらし、独立したジャーナリズムの機能を果たし始めて民主化を促す役割を担うことと、民主主義国家と経済発展をささえる機能が自由なマスメディアにはあるということが明らかになった。

主な参考文献

花崎泰雄著 『インドネシア開放政策下の民主化とプレス～スハルト支配終焉への助走』
時潮社、1998年。

清水秀夫・林伸郎・武市英雄・山田健太著 『マス・コミュニケーション概論』
学陽書房、1997年。

後藤乾一編 『インドネシア～揺らく群島国家』 早稲田大学出版所、2000年11月。

アマルティア・セン著 石塚雅彦訳 『自由と経済開発』 日本経済新聞社、2000年。

Stiglitz, Joseph 2002 "Transparency in government" *The Right To Tell*, Washington, D.C.:
The World Bank.

Carrington, Tim, Mark Nelson 2002 "Media in Transition" *The Right To Tell*,
Washington, D.C.: The World Bank.